

1, 検査の目的

◇食道・胃の状態を造影剤という手法で観察し、潰瘍・ポリープ・がんなどの病変の有無を見るための検査です。

2, 検査当日の内服について

◇糖尿病の方・・・受診前は、薬の服用やインスリン注射はしないでください。
(低血糖になる危険があります)

◇高血圧の方・・・薬は検査開始2時間前に、200ml以内の水で飲んでください。

* それ以外の薬は検査後にお飲みください。

* 薬の服用等について不安のある方は、かかりつけ医などにお問い合わせください。

3, 下記の方は安全に検査を実施できないため検査を行えません。

- ①妊娠中および妊娠していると思われる方(*授乳中の方はお問い合わせ下さい。)
- ②バリウム製剤に対し、過敏症(じんましん、息苦しさ、手足が冷たくなるなど)の既往のある方。
- ③過去2カ月以内に大腸ポリープを切除された方。
- ④過去1年以内に開腹手術や整形外科の手術をされた方。
- ⑤腸閉塞(腸捻転)の既往のある方。
- ⑥腎臓病(人工透析)などで水分制限を受けている方。
- ⑦過去1年以内に心筋梗塞や脳梗塞等の疾患を発症したことのある方。
- ⑧自力で立位を保持することや、撮影台の手すりを自分でつかむことが困難な方。
- ⑨バリウムのコップを自分で持って飲むことが困難な方。
- ⑩技師の指示に従ってスムーズに動くことが困難な方。
- ⑪脳圧亢進でシャント中の方
- ⑫検査当日の血圧が、最高血圧190mmHg以上、又は最低血圧110mmHg以上の方。

腹痛など腹部に症状がある方は検診には適しません。医療機関を受診して下さい。

胃・十二指腸の治療中または経過観察中の方は、かかりつけの医療機関で受診して下さい。

* バリウムによる偶発症

誤嚥をされる方が最も多く、全体検査数の0.01%との報告があります。特に高齢者では注意が必要です。腸管憩室のある方は、憩室炎を生ずる恐れがあります。

極めて少数ですが、発疹などの過敏症、腸管穿孔、腹膜炎、アナフィラキシー様症状も報告されています。検査後の水分摂取が少ないとバリウムイレウス(腸閉塞)のリスクが高まります。

当センターでは細心の注意を払って検査を行っていますが、以上のような危険性があります。

ご理解・ご納得いただき胃透視検査を受けることに同意されましたら、同意書にご署名のうえ、ご提出ください。

ご不明な点がございましたら、何なりとお尋ねください。

私は、上記の内容を理解し検査を受けることに同意します。

____年 ____月 ____日

____氏名